

園名：社会福祉法人たつの子の会
羽村しらうめ保育園
活動日時：令和7年9月18日
午前中
クラス名：こじか組（3歳児クラス）
年間テーマ：設定遊び

＜テーマの設定理由＞

室内で思い切り体を動かして遊び、気持ちを発散させる。手足・体をしっかり使って育つことでイメージも広がり、色々な遊びにつながっていく。2歳から3歳クラスになり、広いホールを走ったり、リズム遊びをしたりと、体を動かして遊んできたが、走るだけではなく、梯子を登ったり、くぐったり、高い所からジャンプする等、色々な体の動きを経験する。身体を使って遊ぶ中で、自分の中で、また友達とのワクワクを引き出していく。

＜活動スケジュール＞

1年を通して設定遊びを継続的に取り組んでいる。
この日は午前中3歳クラスのための空間・時間で道具を使いながら設定遊びを行う。

＜活動のために準備した素材や道具＞

梯子・体技台・平均台・ロールマット・マット
肋木・肋木板・大縄・布団棚・

＜環境をデザインする・探求活動の実践＞

＜ねらい＞

- ・自分の好きな場所を選んで、好きな所から始める。肋木板の斜面、ロールマットの山等、足指の力を使って上まで登る。
- ・膝をつかずにしっかりと足を上げて布団棚に登る。 ・一本橋は落ちないように慎重に渡る。
- ・自分の体を支えてよじ登る。 ・高這いの姿勢で梯子を渡る。 ・縄を使って体を引き寄せる。

自分の好きな場所から始める。ロールマットの山に登ったり、肋木板に登る子がいた。布団棚まで行くと、反対側に降り、一本橋を渡って巧技台からのジャンプを楽しむ。友達が来ると上手くよけたり、一緒に進もうとする姿もあった。傾斜をつけている梯子は、高這いで登る子が多いが、30cmから30cmの梯子ではお尻を上げず、足から先に進む姿が見られた。その他には、梯子の上を通らず、間をまたいで進む子もいた。



ホールの真ん中に設定してあるため、周り（廊下や吹き抜け周り）を走る子の姿があった。集中力が短く、飽きてしまう姿があるため、ロールマットの位置を変えたり、巧技台の高さを変える等、遊び方を工夫していった。そうすることで大人が声をかけなくても、子どもたちが変化に気づき、再び遊び始める姿があった。また、遠くにジャンプをしたい子がいたため、カラーマットを出し、何色まで飛べるか等の遊びも行っていった。



＜振り返り＞

- ・自分の好きな場所から遊び始める姿が見られた。慣れてくると友達と一緒に渡ったり、転がったり、ジャンプをする姿もあった。
 - ・ホールは広く、視野が広がるため、真ん中に設定が一つあると、集中が切れた時に周りを走る子が多かった。途中で設定を組み替え、工夫していったが、走る子も一定数いた。
 - ・ある程度遊び終え、満足することで設定の周りを走り回る子が増えたのではないかと感じた。設定を組んだ時に、子どもの姿を想像して次の展開を考えて、設定を組み替えられるように、考えておくことが大切だと感じた。
- 子どもたちの集中が切れたまま続けていると、ケガに繋がる可能性があるため、タイミングを見極めていく。
また、ホールの真ん中に設定があることで周りを走りたくなる子がいると感じたため、違う内容の設定を3つ程用意しておき、自分の好きなものから出来るように設定してみる。子どもたちの姿から、遊び方を変えたり、工夫していく。